

会 議 録

学校給食センター

会議の名称	富士見市学校給食センター運営委員会
開催日時	令和6年3月13日(水) 午後3時00分～午後4時00分
開催場所	学校給食センター研修室
出席者	辻 庸一氏(みずほ台小学校長) 他11人 出欠席状況、別紙のとおり
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 報告事項 ①令和5年度 学校給食センターの主な取り組みについて ②令和6年度 学校給食センターの主な取り組み予定について 4 閉 会
会議資料	1 令和5年度 学校給食センターの主な取り組みについて

会議内容

1 開会

川村副所長

2 あいさつ

江口所長

3 議題

(1) 報告事項

①令和5年度 学校給食センターの主な取り組みについて

事務局より別紙資料に基づき、令和5年度の学校給食センターの主な取り組みについて報告した後、質疑に入る。

委員：今年度、給食試食会を再開したということだが、開催場所は学校と給食センターのどちらで実施したのか。

事務局：参加された7団体のうち1団体は学校、残りの6団体は給食センターでセンター内を見学した後に試食という流れで実施した。

委員：申込方法、最大受入人数、費用、時間帯を教えて欲しい。

事務局：申込方法については、申込書を記入のうえFAXもしくは持参となっている。最大受入人数については、センターで実施する場合は会議室の広さの問題で12名とさせて頂いている。学校で実施する場合は学校との相談になるが、もっと受入が可能な場合もある。費用については、小学校メニューは1食250円、中学校メニューは1食300円の実費を頂いている。時間帯については、10時から施設見学、11時から試食、12時に終了というのが、大まかな流れである。

委員：試食会を先日、学校で実施したが私たち保護者にとってとても良い体験となった。そこで少し感じたことになるが、お茶などの水分の提供は無いのか。

事務局：水分の提供は、基本的に牛乳となるが、牛乳が飲めない児童生徒についてはお茶を提供するなどの対応を取っている。また、夏場などの水分が多く必要となる時期については、通常の200mlではなく250mlを提供する日を増やすなどの対応をしている。

委員：今回の取り組みの中には無いが、残菜を減らす取り組みについては何か行っているか。

事務局：給食だよりや献立予定表などで残さず食べるよう呼びかけている。今後も給食主任の先生と連携し、取り組んでいく。

委員：先日、ニュースで給食中の窒息事故があったが、富士見市ではそれを受けて何らかの対策をしたのか。

事務局：この事故については、文科省及び県から「給食時における安全に配慮した食事の指導の徹底」についての通知があり、それを受け、給食センターから市内各学校にも指導の徹底について依頼をしたところである。また、「よくかんで食べよう」という呼びかけを、家庭と学校の両方でしていくと共に、食材を出来るだけ小さくカットする等の対策も検討していきたい。

②令和6年度 学校給食センターの主な取り組み予定について

事務局：今年度は新規事業も含め多くの事業を実施したが、これらの事業を令和6年度も継続して実施していきたいと考えている。

また、栄養士による児童生徒への食育指導や、地産地消への取り組みについても引き続き積極的に取り組んでいきたいと考えている。

委員：地産地消については、市内業者へ広報ふじみなどで呼びかけて集めているのか。

事務局：広報ふじみではなく、直接、組合を通して農産物の納入をお願いしている。

委員：地場産物を使った体験型の取り組みを実施してみてもどうか。例えば富士見市産の味噌などを使った味噌の手作り教室などは、最近、味噌を手作りする家庭も少ないと思うので、食育の観点からも良い試みだと思う。

事務局：地場産物を推進する部署とも連携して、体験型の取り組みが出来るよう検討していきたいと考えている。

4 閉会

江口学校給食センター所長